



認知症カフェのお話 追浜オレンジスマイルカフェ

～認知症は恥ずかしい病気ではありません～

今回、追浜オレンジスマイルカフェ代表浅見節子さんにお話を伺いました。

【追浜オレンジスマイルカフェのはじまり】

このカフェを始めたきっかけは、「私の住む追浜にも認知症カフェがあったら良い」と思い始めたことによります。私の夫は、数年前、認知症を発症しました。その時、夫への対応などを模索するうち、鶴が丘にある「しろいにじの家」(現「しろいにじオレンジカフェ」)に行かれると良いですよ」と紹介してくださる方がいました。その言葉に従い行ってみると、そこはまさに疲れた心が休まるのが実感できたのです。

今のカフェを始める前、追浜地区の住民を対象とした認知症サポーター養成講座や認知症に関する学習会などを経て、認知症の人への対応などがおぼろげながら分かってきた段階で、令和6年1月セブンイレブン横須賀追浜町店事務所にて、毎月第3木曜日の午後、このカフェを始めました。

【追浜オレンジスマイルカフェで大切にしているもの】

ここでのコンセプトは、「認知症は、恥ずかしい病気ではありません」です。認知症は誰でもなりうる病気です。追浜オレンジスマイルカフェは、認知症に理解のある仲間とともに、認知症に関わる日頃の不安や体験など気軽に語り合える場所です。



【追浜オレンジスマイルカフェの特徴】

カフェでは、先ほどのコンセプトを理解してもらってから始めます。来られた方には、自己紹介をしていただきますが、参加の経緯や理由は人それぞれです。皆それぞれ悩みを抱えて来られており、ここでの時間は、情報交換のみならず、居場所や自分を取り戻す場所でもあります。気軽におしゃべりする中で、自分自身がカフェに来られた意味を見つけることができるでしょう。

このカフェには、スタッフのほか、市職員、地域包括支援センター職員の方も参加しています。専門的な相談にも対応できるのも一つの特徴です。

【認知症を理解する活動】

あなたのまわりに認知症と診断された方はいませんか？月1回のカフェでは、お一人様の語られる言葉に真摯に耳を傾けています。物忘れが気になる方やご家族などが、お茶を飲みながら気軽にストレスを発散していますが、究極の目標として、「安心して認知症になれるまち追浜」を目指しています。認知症の理解者が増え、やさしいまちになりますように…。



問い合わせ：福祉総務課 地域力推進係(046-822-9804)